

《令和8年度 埼玉県立常盤高等学校 入学式式辞》

暖かな春が訪れ、花も盛りの、まさに、春爛漫の季節となりました。

本日、ここに、ご来賓並びに保護者の皆様のご臨席のもと、令和八年度 埼玉県立常盤高等学校 入学式を挙行できますことは、本校関係者一同、大きな喜びでございます。

ただいま入学を許可いたしました 八十名の新入生の皆さん ご入学おめでとうございます。在校生、教職員一同、心から歓迎いたします。

皆さんは「将来 看護師になりたい」という 思いと決意を抱き 常盤高校を志願し そして 今日ここに 入学という日を迎えました。

本日の喜びは、皆さんの、たゆまぬ努力によることは言うまでもありませんが、いつも、温かく支えて下さったご家族の方々、そして中学校の先生方など、周囲の支援があったことを、忘れてはなりません。

本日の入学式に当たり、これまでお世話になった方々に素直に感謝し、これからは、常盤高校の生徒として、更に一層勉学精進する事を、心に誓って欲しいと思います。

さて 本校は 昭和四十五年 埼玉県立常盤女子高等学校として創設され今年度で五十七年目を迎えます。これまで本校で学んだ皆さんの多くの先輩たちは 看護職者として 県内 国内 さらに広く海外でも活躍しています。

ここで新入生の皆さんに 常盤高校で学び 将来を担う看護師になるために二つのことを申し上げます。

一つ目は 「看護師として必要な専門的知識や技術を しっかりと身に付け 仲間と共に学んでほしい」ということです。

皆さんは 一年生から 普通科目とともに 看護の専門科目を学ぶこととなります。これまでの勉強と違い、戸惑うこともあるでしょう。高度な知識や技術を習得することは 生易しいことではありません。

しかし、皆さんが 将来信頼される看護師なるためには必要なことなのです。あきらめずに 主体的に学ぶ姿勢で取り組んでください

皆さんは一人ではありません。今日、入学した八十名は同じ志を持つ仲間です。本校の校歌の歌詞に「友と手を取り 学ぶとき 天使の声を 胸に聞く」という一節があります

是非、お互いに励まし合い 人とのつながりを大切にし 支え合いながら 共に学んでほしいと願っています。

二つ目は 「失敗を恐れず、挑戦してほしい」ということです。

現代社会は、デジタル化、超少子高齢化、AI技術の発展など、あらゆる分野で技術革新やイノベーションが起き、十年前には想像もできなかった職業が生まれ、これまで当たり前

だった仕事が消えるかもしれません。このような予測不可能な時代を生き抜くためにも、変化や困難も前向きに受け止め、できない理由を探すのではなく、どうやったらできるかを考え、挑戦してほしいと思います。

医療現場においても例外ではなく、新しい知識や技術の習得が必要となってきます。

看護師としての職責を果たすためには、看護の知識や技術の習得はもちろんですが、豊かな人間性を身に付けることは不可欠です。そして、人として信頼され、成熟することが求められています。これはAIにはできないことです。

これからの高校生活で、日々の授業はもちろんですが、学校行事、部活動、あるいはボランティア活動など、さまざまなことに積極的にチャレンジし、多くの経験をし、豊かな人間性を身に付け、誰からも信頼される人になってください。

次に、保護者の皆様に申し上げます。改めまして、お子様のご入学、誠におめでとうございます。大切なお子様をお預かりし、将来、看護のスペシャリストとして羽ばたくことができるよう、全力を尽くしてまいります。本校の教職員は、各教科科目における高い専門性、指導力を兼ね備えています。本校のすべての教職員が力を結集して、お子様の教育に使命感と情熱を傾けて、進路希望を実現させることに全力を注いでまいります。

また、私たち教職員のほか、実習先となる病院、老人ホーム、訪問看護ステーションなどの方々、さらに地域の方々のご協力を得ながら、教育活動を進めてまいります。

保護者の皆様におかれましても、五年間という長い期間になりますが、本校の教育活動に対して、ご理解とご協力をいただければ幸いです。

結びに、本日、ご多用にもかかわらずご臨席賜りました、皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、新入生の皆さんの、これからの高校生活が、充実したものになりますよう祈念して、式辞といたします。

令和八年 四月 八日

埼玉県立常盤高等学校長 井上 一也